

## 「はばプラⅡ」を活用した授業改善のポイント

～まずは、これから始めよう！  
注：各教科の過程は、「はばプラⅡ」  
(R元.8月発行)の記載による

国語	「つかむ」過程において、身に付けさせたい資質・能力を明確にして、必要感のある言語活動を設定しましょう。	はばプラⅡ P4
社会	「つかむ」過程において、単元に関わる社会的事象について課題意識が高まる資料を提示して、児童生徒の疑問や驚きを基に、単元の課題を設定しましょう。	はばプラⅡ P18
算数 数学	「であう」過程において、児童生徒が既習事項と本単元の学びのつながりを意識しながら、本単元の見通しをもてるように、既習の知識及び技能では解決が困難な体験（課題を見いだす活動）を設定しましょう。	はばプラⅡ P32
理科	「追究する」過程では、自分の予想や仮説を基に、観察や実験の計画を立てられるようにしましょう。	はばプラⅡ P46、47
生活	「であう」過程において、学習対象への興味や関心が高まるような出会わせ方を工夫し、学習対象とじっくり関わる機会を設定しましょう。	はばプラⅡ P58
音楽	「追求する」過程において、表したい思いや意図を膨らませられるよう、繰り返し試行させたり、表現の高まりを価値付けたりする場を設定しましょう。	はばプラⅡ P72
図画工作 美術	「出会う」過程において、題材への関心を高め、表したいことや主題を生み出せるよう、作品等の鑑賞活動や表現方法を試す活動、体験したことを話し合う活動等を設定しましょう。	はばプラⅡ P80
体育 保健体育	<運動領域・体育分野> 運動量を確保した上で、友達同士で教え合ったり、協力し合ったりする場面を工夫しましょう。	はばプラⅡ P96
	<保健領域・保健分野> 身近な日常生活の気付きを大切にしながら、実感を伴う意見交流の場を設定しましょう。	はばプラⅡ P98
家庭 家庭分野	「つかむ」過程において、生活の中から問題を見だし、題材の課題を立てる場面を設定しましょう。	はばプラⅡ P108
技術分野	「つかむ」過程において、既成の製品等を分解・観察したり、現在利用されている技術の開発の経緯を調べたりする活動を位置付け、技術に込められた問題解決の工夫について気付かせましょう。	はばプラⅡ P122
外国語活動 外国語	「つかむ」過程において、単元の見通しをもたせるための言語活動（試しの活動など）を設定しましょう。	はばプラⅡ P136
特別の教科 道徳	内容項目について特に大切にしたいことに児童生徒が気付くことができるよう、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を構成しましょう。	はばプラⅡ P146
総合的な 学習の時間	答えや解決方法が一つに定まらない大きな単元の課題を設定することで、問題解決的な活動が発展的に繰り返されるようにしましょう。	はばプラⅡ P154
特別活動 (学級活動)	学級活動の三つの内容(1)(2)(3)の特質を踏まえて、「事前の活動」→「本時の活動」→「事後の活動」の学習過程を計画・実施しましょう。	はばプラⅡ P164、166
幼児教育	幼児期に育みたい資質・能力を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を全教職員で共有し、一人一人の発達に必要な体験が得られるような環境の構成や言葉かけをしましょう。	はぐくみプラン P4、5 ※H31.3月発行

令和2年度

# 学校教育の指針

第3期群馬県教育振興基本計画（2019年度～2023年度）

基本目標

たくましく生きる力をはぐくむ

～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～

## ～本指針の活用にあたって～

本指針は、「第3期群馬県教育振興基本計画」「群馬県教員育成指標」等に基づき、令和2年度の重点項目として取り組んでいただきたい内容について簡潔に示したものです。

市町村教育委員会、各学校・園において、教育計画づくりや日々の教育実践を行う際の指導に御活用ください。

本指針及び関係資料については、以下の群馬県教育委員会各課発行・提供資料に掲載してあります。

群馬県教育委員会 各課発行・提供資料  
<http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/>

検索

群馬県教育委員会